

インフラマネジメント テクノロジーコンテストについて



2023.4.27 インフラテクコン実行委員会

インフラテクコンの意義

インフラはこれまで全国共通のまちづくりの手段の1つでしたが、今後は地域ごとに求められる新たな価値やサービスを創造・提供するとともに、地域共創・協働を推進するハブ的な役割も期待されます。

そして、それらを実現するプレイヤーとして、また地域関係者間のコミュニケーターとして、**地域に根差した高等専門学校と、地元と技術に深い愛情を持つ高専生**がキーパーソンになると考えています。

「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」は、こうした社会情勢の変化やニーズ、課題に対応できる人材育成を目指し、高専生が地域課題に気づき、インフラの新たな役割を考え、その過程で**企業や地域行政とつながる機会**を提供しています。

インフラテクコンの概要1/2

イベント名	インフラマネジメントテクノロジーコンテスト
スローガン	まちを守る。未来を創る。
キャッチコピー	繁栄か、廃退か 街の未来は君たちの「技術」と「アイデア」に託された 高専生 挑戦せよ！
テーマ	自由 ※テーマ例として広報・合意形成・住民参加・省力化/合理化技術・代替サービス・仕組み等
対象インフラ	公共インフラ(ネットワーク系、ハコモノ系)すべて ※鉄道、橋梁、道路、電気、ガス、上下水道、通信、庁舎、学校、文化施設、空港、港湾、清掃工場など
コンセプト	学びを活かして社会課題を解決するワクワク感を体験する
狙い・目的	<ul style="list-style-type: none">・学校だけでは身につけにくい「課題発見力」を養う・学校だけでは学びにくい「地域・まち」と「インフラ」の関係性を知る・インフラマネジメントへの当事者意識を醸成する・インフラマネジメントを担うさまざまな企業を知る

インフラテクコンの概要2/2

運営等

2022年度実績

- ＜主催＞インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会
(NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム公認事業)
- ＜共催＞NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
一般財団法人人生100年社会デザイン財団
- ＜後援＞国土交通省、文部科学省、独立行政法人国立高等専門学校機構、
独立行政法人国際協力機構、公益社団法人土木学会、
公益社団法人日本技術士会、公益社団法人日本下水道協会、
一般社団法人建設コンサルタンツ協会、
一般社団法人持続可能な社会のための日本下水道産業連合会、
一般社団法人日本橋梁建設協会、一般社団法人日本建築学会、
日本経済新聞社
- ＜協力＞インフラメンテナンス国民会議、
公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、Doboku Lab.

高専チームの参加状況

●参加状況

2020最終審査参加

- ・1次 30チーム(17校)
- ・本選 8チーム(8校)
- ・自由参加 5チーム(4校)

2021最終審査参加

- ・1次 17チーム(15校)
- ・本選 11チーム(10校)
- ・自由参加 1チーム(1校)

2022最終審査参加

- ・1次 19チーム(13校)
- ・本選 11チーム(8校)
- ・自由参加 2チーム(2校)

●高専別参加MAP



プラチナ賞（企業賞）

●プラチナ賞とは

各プラチナ協賛団体によって選ばれる賞です。副賞はノベルティの贈呈や、現場見学会など各団体によって用意されます。企業との交流を深めるだけでなく、共同研究へつながるきっかけづくりとしても視野に入れています。発表は来年2月の交流会の予定です。

●プラチナ賞の本数

2020企業賞

- ・企業数10社
- ・企業賞29本



2021企業賞

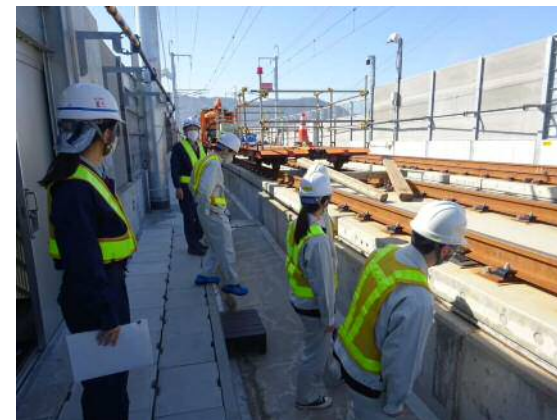
- ・企業数15社
- ・企業賞36本



2022プラチナ賞

- ・企業数14社
- ・企業賞35本

※2022より企業賞からプラチナ賞に名称が変わりました



企業からの挑戦状

<2022年大会実績>

株式会社フソウ

新しい社会サービス「スマート・ライフライン」を創造しよう！

下水道広報プラットフォーム

第3世代の下水道を描け！

株式会社水土技術研究所

遠隔地から水質を連続的にモニタリングするシステムの構築

スバル興業株式会社

都市の機能を支えるインフラメンテナンス業！

交流会

●交流会

学生、高専、企業、業界などテクコンの関係者を中心にリアル&オンラインで行います。2022年度はコンテストの終了した今年の2月に行いました。タテヨコナメに交流ができるため、様々な人脈をつくることができます。

内容は最後まで作品を作り上げたチームによる「プレゼンの部」、来場したチームと協賛企業によるブースが並ぶ「交流の部」、そして本選の表彰とプラチナ賞が発表される「表彰の部」をメインに行います。

●2022交流会 参加状況

- ・一般 140名
- ・高専関係者 42名(会場参加 12チーム)
- ・スタッフ 47名
- ・web視聴者 232名(web参加 7チーム7)
- ・ブース参加企業 11団体



社会インフラテック

●社会インフラテック

関係団体であるインフラメンテナンス国民会議と日本経済新聞社が主催する展示会、SDGs Week EXPO 社会インフラテックに参加しています。社会インフラテック2022では、2つのステージとブース展示を行いました。

●内容



ステージ1
「高専生が経営トップに聞くインフラメンテナンス」
(NEXCO東日本・由木社長)



ステージ2
「漫才師 元気丸が聞く！教えて高専生」



ブース展示
「わくわく賞 投票所」

2022大会参加校指導教官アンケート

Q2:インフラテクコンへの参加理由に当てはまる... ※その他を選択の際は具体的にご記入ください。
11件の回答

